

# 定住促進と地域の活性化を目指して!! 『白石市定住促進奨励金』がスタート!

人口の減少を抑制し、定住促進と地域の活性化を図るため、土地取得に要する経費の一部を助成します。

## ■受給対象者は?

- 次の要件をすべて満たす方です。
- ①白石市に転入しようとする方および市内に住所を有する方
  - ②平成19年4月1日(売買契約日)以後に定住を目的として市内に土地を取得し、取得後2年以内に持ち家を取得した方
  - ③奨励金の交付を受けようとする日以前1年間において、納付すべき市税などの滞納のない方。転入者の方は従前住所地において市町村税などの滞納のない方。
- ※1 定住とは、永く住むことを前提に市内に住所を有し、生活の実態があることをいいます。
- ※2 土地とは、自己の居住の用に供するため新たに取得した土地をいい、相続、贈与、そのほか取得対価を伴わない事由により取得した土地は含みません。公共事業により敷外に転居するために取得した土地は対象なりません。
- ※3 持ち家とは、自己の居住の用に供するため新たに取得した建物をいい、建売住宅(新築、中古)を含みます。

## ■申請の方法は?

- 持ち家を取得した日から6カ月以内に以下の添付書類を添えて、市役所2階企画情報課へ申請してください。
- (1)住民票の写し (2)土地取得に要する費用を明らかにできる書類(売買契約書等の写し) (3)土地・家屋の登記簿謄本の写し (4)納税証明書

## ■対象地域・奨励金の額は?

- ①対象地域は市内全域です。
- ②奨励金の額は土地取得に要した費用の5%に相当する額(上限100万円)です。ただし、次の区域の土地は、土地取得に要した費用の8%に相当する額(上限100万円)となります。
  - ・白石市中心市街地活性化基本計画に定める中心市街地の区域内の土地
  - ・鷹巣土地画整理地内の土地
  - ・市有財産優良宅地
- ※4 土地取得に要した費用には、造成費、税、各種手数料などは含みません。

中心市街地の区域は下図をご参照ください。詳しくは、企画情報課までお問い合わせください。



～奨励金の愛称を募集します!!～

親しみやすく、覚えやすいもので、白石に住んでみたくなるような愛称をお寄せください。【4月20日(月)必着】

●応募方法 名称(1人2点以内)と住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業または学校・学年を記入の上、メールまたはハガキで応募してください。

●応募・問い合わせ先  
〒989-0292 白石市大手町1-1企画情報課  
☎22-1324 E-mail kikaku@city.shiroishi.miyagi.jp

# 平成19年度 予算のあらまし

◎財政課 22-1332

## ●会計別予算表

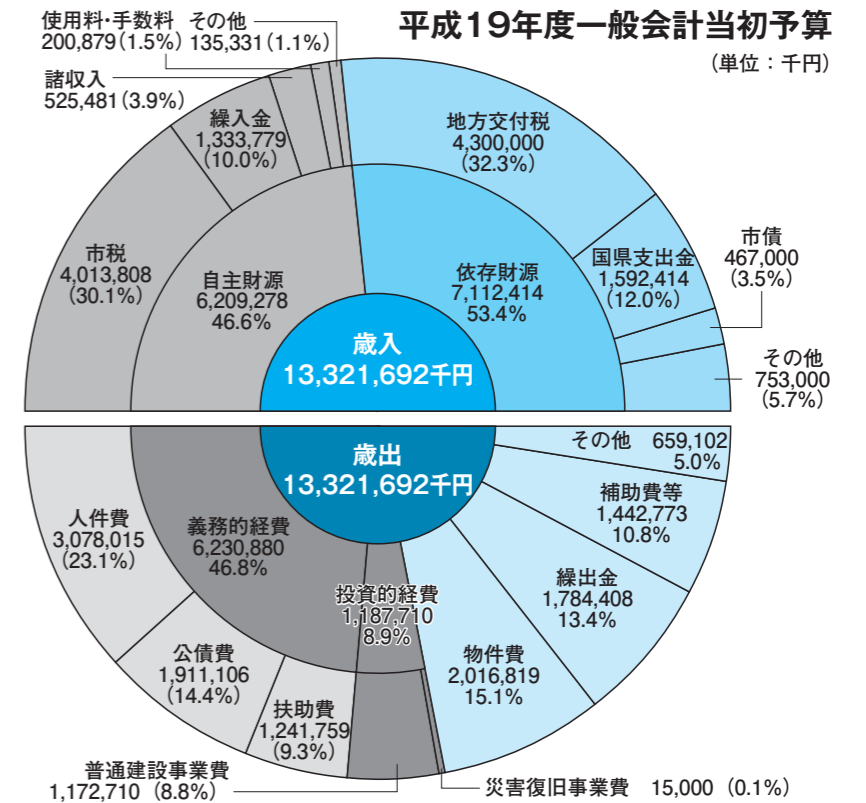
会計名	予算額
一般会計	133億2,169万円
国民健康保険	42億3,417万円
地方卸売市場	267万円
老人保健	44億6,819万円
介護保険	23億4,664万円
特別会計	
水道事業会計	収益的支出 9億9,714万円
	資本的支出 1億9,358万円
下水道事業会計	収益的支出 9億4,466万円
	資本的支出 11億9,814万円
企業会計	
合計	277億0,688万円

## ●目的別予算表【一般会計】(単位:千円)

歳出(目的別)	予算額	構成率
議会費	189,263	1.42%
総務費	2,517,573	18.90%
民生費	2,898,524	21.76%
衛生費	1,277,623	9.59%
労働費	31,302	0.23%
農林水産業費	510,113	3.83%
商工費	461,614	3.47%
土木費	1,757,432	13.19%
消防費	384,259	2.88%
教育費	1,356,970	10.19%
災害復旧費	15,000	0.11%
公債費	1,911,106	14.35%
予備費	10,913	0.08%
歳出合計	13,321,692	100.00%

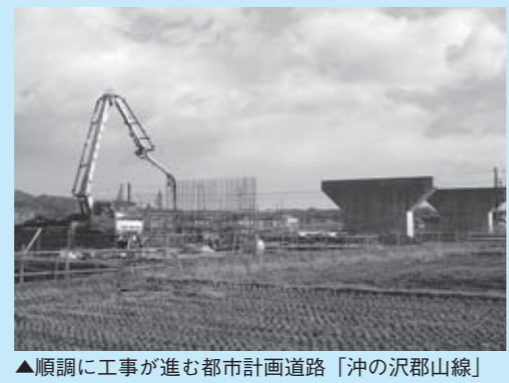
平成19年度予算総額は277億0,688万円で、前年度と比較すると0.4%、9,800万円の増額となっています。うち一般会計当初予算は133億2,169万円で、前年度と比較すると3.6%、4億9,600万円の減額となりました。

一般会計の歳入では、一番大きい割合を占めるのが地方交付税(歳入全体の32.3%)で、次は皆さんに納めていただく市税(歳入全体の30.1%)となっています。市税は税制改正による所得税から個人住民税への税源移譲により増加が見込まれますが、それに伴う所得譲与税の廃止や地方特例交付金の縮減、また、新しい算定方法が導入される地方交付税は依然不透明なことなど財政状況は厳しい局面を迎えています。このような中、歳出の抑制を図りながらも、限られた財源の効果的、効率的な活用を意識した予算編成とし「くらし日本一のまちづくり」の実現に向けメリハリのある予算を計上しています。



# 平成19年度の主な事業

- 総務費
  - 白石市定住促進奨励金 1,000万円
  - 市民バス運行管理事業 2,763万円
  - IT社会に対応する情報化対策アテネ(情報センター)の管理運営費 6,578万円
  - 国際交流員の設置や国際姉妹都市ハーストビル市との交流など国際交流事業 1,384万円
  - スパシミュランド、碧水園、白石城などの管理運営 1億0,516万円
  - ホワイトキューブのイベントや管理運営 1億7,113万円
- 民生費
  - 敬老会、敬老祝金等支給事業、老人ホーム入所措置事業、生きたいデイサービス事業、福祉の郷推進事業など長寿福祉費 9,727万円
- 衛生費
  - 予防接種や検診、母子保健事業などの予防費 2億0,243万円
  - まちをきれいにリサイクル運動報償金、合併処理浄化槽設置補助金、ごみ集積所設置補助金など生活環境保全の経費 1億0,807万円
- 労働費
  - 生ごみ資源化事業所「シリウス」の管理運営 3,370万円
  - ごみ収集委託 7,248万円
  - 勤労青少年ホームの管理運営 2,129万円
- 農業費
  - 農業施設整備事業 4,820万円
- 土木費
  - 中山間地域等直接支払事業 1,849万円
  - 地籍調査費 8,244万円
  - ふるさと農道緊急整備事業として峠沢地区(越河)など農道の改良 2,017万円
  - 松くい虫防除、造林事業、林道改良事業など林業振興経費 6,728万円
  - 商店街活性化に対する助成、全日本こけしコンクール負担金、商工金融対策事業など商工業振興費 3億5,477万円
  - 観光協会、春・夏まつりおよび観光振興のための助成など観光費 2,403万円
  - 温麺の館、弥治郎こけし村、商家資料館、中心市街地活性化交流広場の管理運営 1,111万円
  - 白石スキー場の管理運営 1,615万円
  - 公園の維持管理費 2億5,149万円
  - 沖の沢郡山線街路の整備 5,673万円
  - 住宅などの耐震対策(木造住宅耐震改修工事助成補助金など)や市営住宅の維持管理 6,171万円
- 教育費
  - 南中学校校舎建設事業 1億8,249万円
  - 小・中学校生徒指導対策、特色ある学校づくりおよび総合的学習事業など教育振興費 3,208万円
  - 外国人による語学指導事業 1,724万円
  - 公民館、図書館、スポーツセンターの管理運営 1億2,863万円
  - 学校給食センターの管理運営 2億8,476万円
- 消防費
  - 消防団の運営や小型動力ポンプの購入など消防対策経費 3億7,826万円
  - 安心メール配信業務、災害時対応用備品や自主防災組織補助金など防災対策経費 600万円



▲順調に工事が進む都市計画道路「沖の沢郡山線」